

取引条件を考慮した環境負荷低減施策に関する提案
-加工食品をモデルとして-

2008年3月11日

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境会議
グリーンサプライチェーン推進委員会
取引条件分科会

はじめに

「取引条件の見直し」は古くからのテーマではあるものの、取引先への理解や協力を得ることが不可欠であることから、難易度の高い取組と考えられております。しかしながら、昨今、グリーン物流パートナーシップ推進事業での採択や「改正省エネ法 荷主判断基準」、「京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終報告」における記載といったことから、現実的なテーマとして、注目が集まってきております。

ロジスティクス環境会議でも、ロジスティクス分野における環境負荷低減のための重要なテーマとして「取引条件の見直し」を位置づけ、検討を進めてきました。

第1期では、省資源ロジスティクス推進委員会において、特定製品の物流プロセスの調査を通じて、製造業・流通業等における取引条件と関連する物流の問題点を浮き彫りにするとともに、「取引条件見直しのシナリオ」を提案いたしました。

今回、第2期では、本分科会において、加工食品をモデルとして、①現状分析、②現状に基づく環境負荷低減と取引条件の課題が解消する仮説の立案、③実データに基づく仮説検証を行いました。具体的には、加工食品で小ロット配送されている中継物流を共同化（本書では「中継業者の共通化」と称する）することで、環境負荷低減と一部の取引条件の課題が解消することが分かりました。

特に、今まで一方（自社側）からしか見ていなかった物流について、取引関係のある発荷主、着荷主双方のデータ提供により、相互の実態把握に基づく検討ができたことは大きな成果だと考えております。

なお、今回の施策は、加工食品をモデルとしており、全ての商品群で採択できるものではないと考えられますが、ぜひご一読いただき、少しでも取引条件見直しの参考としていただければ幸いです。

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境会議
グリーンサプライチェーン推進委員会
取引条件分科会 幹事
山本 明弘、恒吉 正浩

取引条件分科会 活動報告

	開催日	時間	会場
第1回	2006年11月10日(金)	15:00-17:50	(社)日本ロジスティクスシステム協会
第2回	2007年1月19日(金)	14:00-17:10	三田NNホール
第3回	2007年2月15日(木)	14:00-17:10	グランパーク三田
第4回	2007年5月18日(金)	15:00-17:00	三田NNホール
第5回	2007年6月21日(木)	14:00-17:10	笹川記念会館
第6回	2007年8月7日(火)	15:00-17:00	(社)日本ロジスティクスシステム協会
第7回	2007年9月19日(水)	9:30-12:05	(社)日本ロジスティクスシステム協会
第8回	2007年10月30日(火)	15:00-17:00	(社)日本ロジスティクスシステム協会
第9回	2007年11月28日(水)	10:00-11:50	(社)日本ロジスティクスシステム協会
第10回	2008年1月18日(月)	15:00-17:00	浜松町東京會館
第11回	2008年2月18日(月)	15:00-17:00	三田NNホール

* グリーンサプライチェーン推進委員会のみ開催 2006年10月6日(金) 10:00-12:00

* 勉強会の開催…第1回、第2回、第3回、第5回、第7回

取引条件分科会 メンバー一覧

2008. 2. 20 現在 (敬称略・順不同)

		会社名	名前	役職
1	幹事	(株)日通総合研究所	山本 明弘	物流技術環境部長 兼 環境グループ 担当部長
2	幹事	味の素(株)	恒吉 正浩	食品カンパニー 物流企画部 企画グループ 長
3	メンバー	(株)イトーヨーカ堂		
4	〃	(株)沖ロジスティクス		
5	〃	オリンパスロジテックス(株)		
6	〃	鹿島建設(株)		
7	〃	国分(株)		
8	〃	(株)サンロジスティックス		
9	〃	(株)J-オイルミルズ		
10	〃	四国名鉄運輸(株)		
11	〃	専修大学		
12	〃	(株)ダイフク		
13	〃	東芝物流コンサルティング(株)		
14	〃	有限責任中間法人日本OE協会		
15	〃	三井物産(株)		
16	〃	(株)三菱総合研究所		

目次

I. 取引条件と環境負荷.....	1
1. 環境に影響を与える物流上の取引条件.....	1
2. 取引条件設定の背景.....	3
3. 取引条件排除が困難な要因.....	4
4. 取引条件分科会における検討方針.....	4
II. 現状分析.....	5
1. 加工食品の物流フローと検討対象領域.....	5
2. 発荷主側での出荷の現状.....	7
3. 着荷主側での入荷の現状.....	8
4. メーカー⇒卸（小売専用センター含む）間の物流フローの概念図.....	13
III. 課題の解決方策.....	15
1. 施策案の概要.....	15
2. 削減効果の推計.....	16
3. 最終施策案と本施策実施による取引条件起因の環境負荷への影響.....	32
IV. 今後の方向性.....	34
1. 本施策で解消できない取引条件.....	34
2. 本施策の実践.....	34

参考資料編